

広報誌制作等委託業務公募型プロポーザルに関する質疑応答

	質問内容	回答
1	「とさぶし」の評価はどのような方法で行っているのか。	webと官製はがきで読者アンケートを実施しており、その回答や評価を参考にしています。
2	県内と県外の発送数の比率を変えていくということは、結果的に県内の部数を減らすことになるがよいか。	発行部数に限りがあるため、県内への発送数を減らすことはやむを得ないと考えます。企画提案書提出時に効果的な配布方法や配布先があればご提案ください。
3	「企画提案書作成要領」「6 企画提案のポイント（4）提案に対する県からの要望」に波及効果を計りたいという文言があるが、アンケートの中の分析だと考えてよいか。	具体例として「アンケートの実施」や「外部リンクへのアクセス数の計上」を挙げていますが、より効果的な方法があればご提案いただきたいです。
4	「広報誌制作等委託業務仕様書」別紙1「とさぶし発行スケジュール・特集内容」で、「田村利親を取り上げること」とあるが、それはどのような形で取り上げたらよいか（「特集」という形で取り上げるのか、何かの項目の一つという形で取り上げるのか）。	「とさぶし」47号～49号の間で「土佐の柑橘」を取り上げ、「田村利親」の功績を掲載いただければ、取り上げ方については問いません。
5	前年度（令和5年度）の特集のテーマの柱などはあったのか。	特集テーマは、編集会議の中で決定しており、特にテーマとなる柱から決定したものではありません。
6	（5の質疑応答を受けて） 企画提案の際に3年間の特集内容を挙げようと考えており、編集委員には、こちらの提案したテーマにそって案を出してもらうことを想定しているがよかったか。	企画提案書で提案いただく「とさぶし」に対する考え方に基づいてテーマを決めてもらうという形で問題ありません。
7	編集会議の回数に決まりはあるか。	1号につき2回以上の編集会議開催をお願いしています。
8	「広報誌制作等委託業務仕様書」別紙1「とさぶし発行スケジュール・特集内容」を見ると、47号発行の際は合計3回編集会議を実施しているが、必ず行わなくてはならないのか。	第1回目は通常の2回の編集会議とは別に、編集方針や特集内容の意見出しや顔合わせも含めた協議の場に行いたいと考えています。